

こんにちは！

# かさもと 俊也 です！



## 俵山温泉IC(仮称)接続の周辺道路整備について(要望)

俵山地区で進められている山口県版小さな拠点事業「やまぐち元気生活圏」。その中心施設の設置計画も進行している中、去る2月20日に、国より俵山温泉IC(仮称)周辺道路の詳細設計が示されました。今回、長門土木連絡事務所に対し、そのICに接続する新たな県道設置の来年度予算確保について、俵山地区発展促進協議会の藤野会長さんなど、地域の9団体の代表の方々、地元重村市議会議員さんと共に要望を行いました。

みんなで地域の未来を描く。  
住み続けたい魅力溢れるふるさとを！

## 山口県版小さな拠点事業 「やまぐち元気生活圏」の実現に向けて!!

長門市でも各俵山漁村地域では、食料品や日用品を扱う商店の閉店や公共交通サービスの減便、生活関連施設の閉鎖、高齢化による免許返納等で自由に移動出来なくなつたなど、日常生活に必要な機能が失われ、地域で生活していくこと自体が困難になりつつあります。特に一人暮らしのご高齢者等を含む、住民の皆様の心の過疎ともいえる疲弊感が深刻です。

こうした状況を踏まえ、過疎化・超高齢化社会にあっても、持続可能な地域での暮らしを支える取組として進められているのが「やまぐち元気生活圏」づくりです。（裏面参照）

小学校区規模の単位で複数の集落同士が支え合える基礎生活圏を創るとともに、生活に必要なサービスの拠点化やネットワーク化を図り、関係集落同士が支え合う中で、住民による生活ビジネスづくりも併せて進め、持続可能な地域での暮らしに向けた仕組みづくりを行うものです。

長門市でも現在14地区でまちづくり協議会が発足し、将来、主体となる担い手の育成が進められ、俵山地区ではこの取組が先進的に行われています。

どんなに時代が変わっても、日々の生活の土台でもあり、ふるさとでもある「地域」が元気でなくては、県や国の未来は描けません。日本を支えているのは、全国津々浦々の市やまちなどの「地域」なのです。

私は北浦地域出身の数少ない議員として、ふるさと山口・長門の一つ一つの「地域」を丁寧に見つめ、皆様の声を伺いながら、地域での持続可能な暮らしの実現を目指しています。皆さんぜひ一緒に！これからも住み続けたい魅力溢れるふるさとを創っていきましょう！！



県内初の地域経営会社(株)SDWORLDさん

山陰道俵山温泉IC（仮称）設置へ、  
県域を先駆けるやまぐち元気生活圏の実現へ。

# 地域と創る。そして、活かす。



ジビエ振興に取り組む猪鹿工房「楽」にて

山陰道の新設を「やまぐち元気生活圏」づくりの好機ととらえ、俵山地区では、増加が期待される交流人口を取り込み、これからの地域の活性化に繋げるため、今まで幾度も地元住民の皆様が対話を重ねられ、これまで「公民館運営の民営化」や、生活サービスを住民の手で運営する「NPO法人の設立」などといった「元気生活圏」の基礎づくりを一步一歩進められて来られました。

また、私自身も、山陰道IC周辺の中心施設を含む、山口県版小さな拠点事業「やまぐち元気生活圏」を具現化することが、本地域の活性化に繋がると信じ、活動に取り組んできたところであります。県議会においても、この事業の推進や、山陰道と周辺県道整備を訴え、俵山地域振興への県の協力を強め歩一歩進められて来られました。

その結果、住民手作りの地域の将来計画である「夢プラン」づくりの後押しや、ハード・ソフト両面で活用できる「元気生活圏活動力創出事業」、「地域経営会社」の立ち上げ・経営支援等の具体的支援策を導き出すことができました。

こうした支援策を活用され、現在、㈱SDワールドさんが俵山温泉街を舞台として、やまぐち元気生活圏の土台作りに取組まれ、宿泊施設「ねる山」、飲食施設「たべ山」の経営といった、住民主役の取組を進めておられます。

頻発する鳥獣被害を防ぎながら、狩猟で得た猪や鹿の肉を加工し、ジビエとして地域商品化する取り組みもその一つです。

いよいよ山陰道の俵山温泉IC（仮称）の形が具現化してまいりましたが、今後は

地域住民も利用しやすく、県道38号線や中心施設への接続が最良の形となる新たな県道設置が求められます。

そして、この構想の中での中心施設が、単に物販・買い物施設ということではなく、市内への交通拠点として、また公民館機能や金融、防災、保育、医療・介護サービスなども提供される場として、今後検討が進められ、地域住民の働く場ともなっていく

く求めてまいりました。

内閣府ホームページ参照  
「山口県版小さな拠点事業「やまぐち元気生活圏」のイメージ



こここそ、「やまぐち元気生活圏」が真に目指す姿です。

今後、高齢者が多く暮らす長門の農山漁村では、地域の存続に向けて、こうした元気生活圏づくりが必要となります。

県域を先駆け「やまぐち元気生活圏」を俵山地区で創り、県内・市内に同様の動きが拡大していくよう、そして、その創った機能が地域に大いに活かされていくよう、私は今後とも地元住民の皆様と一緒にになって精力的に活動していく覚悟です。

(発行元) かさもと俊也事務所

Tel 0837-22-5226 FAX 0837-27-0106  
E-MAIL kasamototoshiya@gmail.com

県政に対する皆様のご意見・ご要望をお寄せください！

県政レポートやかさもと俊也の活動、皆様のご意見をメールやFAXなどでお気軽にお寄せください。ミニ集会などの開催をご希望の方は、かさもと俊也事務所までご連絡ください。